

開催趣意書

第71回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会が、令和5年7月27日（木）28日（金）の2日間、宮崎県宮崎市で開催されます。本県での開催は昭和46年の第19回大会以来、52年ぶり2回目となります。

全国高等学校家庭クラブ連盟は、家庭科を学ぶ高校生を会員とする教育組織です。学校家庭クラブは、「創造・勤労・愛情・奉仕」の精神を活動の柱としており、家庭科で学習した知識・技術を生かしながら、各自の家庭や学校、地域社会における生活の充実向上をめざして活動し、その実績は各方面から高く評価されております。

その中で、本大会は、全国の高等学校家庭クラブを代表するクラブ員、成人会長、顧問教師など約1,300名が参加し、日頃の研究活動や実践活動の成果についての発表を行うとともに、情報交換などを通してクラブ員相互の交流を深めることにより、家庭科教育を一層推進することを目的として開催されます。また、この大会は、生徒の力で運営され、宮崎県内のクラブ員は大会準備から本番まで様々な形で大会の運営に参加しています。

今日、私たちを取り巻く状況は、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化、少子高齢化、高度情報化などへの対応や持続可能な社会の構築など、解決すべき課題が山積しています。社会状況が大きく変化する中で、家族・家庭や社会における生活の現状を見つめ、問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して解決する力、家庭や地域の生活を主体的に創造しようとする態度を身に付けた生徒を育てていくことが大切です。

宮崎県は、「古事記」「日本書紀」に記された神々の物語にまつわる地が多く点在する「神話のふるさと」でもあり、まさに家族・家庭の起源の地でもあります。

こうした中で、本県において全国のクラブ員が一堂に会し、優れた研究成果を共有し、より良い社会の実現に向けて互いに研鑽を積むことは、極めて意義深いことであると思われれます。

つきましては、このような趣旨をご理解いただき、本大会が一層充実し、家庭科を学ぶ高校生の研究活動や交流活動の更なる推進のため、特段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年2月1日

第71回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会

宮崎大会実行委員長 奥村 昌美

（宮崎県立宮崎農業高等学校長）